

(様式1)

令和4年度 学校運営協議会自己評価表

浜松市立(丸塚中)学校運営協議会長

<評価項目1> 学校運営の基本方針について熟議することができたか。

- 協議会設置一年目で手探り状態だったが、学校運営の基本方針について学校側からの丁寧な説明があり、理解することができた。
- 授業参観等により、日頃の生徒の授業への取組の姿勢を見ることができ、協議に生かすことができた。
- 基本方針を核として、目指す生徒像を共有し、学校・家庭・地域それぞれの視点で課題に対し、実効性のあるビジョンを一緒に考えていきたい。

<評価項目2> 学校運営に資する活動について熟議を進めることができたか。

- 設置一年目であり、様子を知るところから始めているが、授業や小学生との交流、教職員の研修等を参観して、学校運営に資する活動について考える参考となった。職場体験や学習支援について意見を交わすことができた。
- 委員の中には、草木染めや紙バンドでの干支作りで、生徒の活動に触れることができた。実際に生徒の顔を見ることで、実態を理解できる機会となった。協議会では、その報告を受け、学習支援について考えることができた。
- 学校と地域の連携、協働体制が続いていくことが大切である。地域の人たちも学校運営に関わり、子供を育てていたり、ボランティアとして得意なことを生かして学校を支援したりすることができるよう協議したい。

<評価項目3> 今年度の取組の評価を踏まえた来年度の目標(取組の重点)

- 今年度以上に委員同士の相互理解を深め、協議会として望ましい姿になるように努力したい。
- ビジョン実現に向けた取組に、役割分担を担う当事者として、学校・家庭・地域の連携、協働を強化できるよう熟議を進めていきたい。
- 今年度、協議の中で地域企業や地域人材について、各委員から意見が出された。来年度は、教育活動の中で学校とつなげられるよう、熟議を進めたい。
- 協議会での協議した内容を地域に広めていきたい。